



白ばら

第49号 (令和7年9月)

[発行]

枚方市明るい選挙推進協議会
枚方市大垣内町2丁目1番20号
枚方市選挙管理委員会事務局内

電話 (072)841-1532

FAX (072)844-3479

[編集]

機関紙白ばら発行委員会

枚方市明るい選挙推進協議会機関紙

第51回白バラ講座

人は変われる



順天堂大学教授
日本オリンピック委員会医科学スタッフ

講師 たにもと みちや 谷本 道哉 さん

令和7年10月23日(木)

午後2時～午後3時30分

枚方市総合文化芸術センター本館

関西医大 大ホール

先着780名 入場無料

ピック委員会医科学スタッフなどを務めておられる多方面にわたりご活躍されています。

NHK「あさイチ」「おはよう日本」、フジテレビ「ホンマでっか!?TV」などのテレビ番組への出演や多数の著書で、筋生理学や身体運動科学を専門に、運動の効果を分かりやすく説明されています。また「筋肉は裏切らない」というフレーズで、流行語大賞にノミネートされました。

本講演では「人は変われる」をテーマにお話しいただきます。

な活動の積み重ねが大きな成果につながると思っ、これからも明るい選挙の推進に努めて参ります。今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

枚方市明るい選挙推進協議会

会長 菊井 絹代

ご挨拶

皆様には平素より明るい選挙推進協議会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。私たちの活動目標は、明るい選挙、きれいな選挙を推進するとともに、多くの方に日頃から政治

に関心を持ち、進んで投票に参加して頂くことだと思っっています。インターネットやSNSが広がる中、若い人たちに政治に興味を持ってもらい投票所に足を運んで頂きたく願っています。そして、私たちの地道

機関紙「白ばら」カラー版をご覧ください。

枚方市選挙管理委員会ホームページでは、機関紙「白ばら」を見やすいサイズにしたり、カラーで読むことができます。

右記二次元コードを読み込んで、ぜひご覧ください。



白ばらの由来

なぜ「白ばら」が明るい選挙のシンボル・マークなのでしょう？
「白ばら」は、大正後半の普選選挙獲得運動や、昭和12年の東京市政浄化運動達成のシンボル・マークとして使われてきました。「このような選挙にちなむ先人の祈りを受け継いで「白ばら」に明るい選挙の願いを表したものです。」



令和7年度

総会を開催

令和7年4月21日(月)、総合文化芸術センター別館誠信建設工業メセナホールにおいて、枚方市明るい選挙推進協議会総会を開催しました。

午後1時30分に開会、

会長挨拶に続き、10年在会の3名に感謝状が贈呈されました。

続いて、ご来賓の伏見市長、有山選挙管理委員長から祝辞を受け、本年度の議題審議に入りました。

まず、議長選出の後、第1号「令和6年度事業実施報告について」、第2号「令和7年度事業計画について」が原案通り承認されました。

その後、講演会では、「生活習慣病予防のための健康づくり」をテーマに枚方市健康福祉部、

健康づくり課、理学療法

士の落合都さんに、講演及び実技指導いただきました。

最後に、副会長より挨拶があり午後3時30分に閉会しました。



10年在会の 感謝状贈呈者

春日校区	平沼 健治
香陽校区	田村 正治
菅原校区	笹田 鈴子



10年在会感謝状を頂いて 「香陽校区」田村 正治

選挙が全ての人にとって気持ちよく執行され、有権者の皆さんに投票してもらったための様々な協力、啓発活動を行ってきました。

明るい選挙を支えているのは公職選挙への真摯な代表者選考への目であり、公約実現の期待であろうと思います。今世界で多様な選挙形態がある中で、わが国においては私達の豊かな生活の保障が望まれています。白ばらのように無垢な目で選挙を見つめていきたいと思えます。

これからの目標は投票への関心の向上、投票形態の変化への対応(AI、SNS時代への対応)、投票率の低下の食い止めでしょうか。10年という節目を機に皆で手を携えて考えてみようと思います。

ポスターコンクール

都道府県選挙管理委員会等が主催する、令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクールに、枚方市では、小学生の部213点、高校生の部1点の応募がありました。

枚方市が選んだ入選作品10点の中から、1点が大阪府の第2次審査で入選しました。

枚方市の入選作品は、1月中旬に市役所別館玄関ホールで展示し、枚方市選挙管理委員会のホームページに作品ギャラリーを設けて紹介しています。



▲枚方市の入選作品展
(枚方市役所別館 玄関ホール)



▲大阪府第2次審査入選作品
津田南小学校 6年生
和山 明日美さん

選挙物品の貸出

選挙管理委員会では、青少年啓発活動の一環として、生徒会等の校内選挙を行う際などに、実際の選挙で使用している「投票箱」や「記載台」の選挙物品の貸出を行っておりますので、ぜひご利用いただきたいと思います。

ご希望の際には、選挙管理委員会事務局までお問い合わせください。



校区推進委員会

下記の日程で各校区合同で校区推進委員会を開催しました。一部抜粋し、各地区で行われた内容をご紹介します。

【樟葉ブロック】

樟葉ブロック校区推進委員会を菊井会長以下43名が出席し、開催しました。

冒頭、司会より菊井会長の総務大臣表彰受賞の紹介がありました。

会長挨拶、全員の自己紹介に続き、校区推進委員会の手引きを読み上げた後、3グループに分かれ意見交換を行いました。その中で投票率アップ



▲樟葉ブロック

や特に若い世代に対する施策について等、活発な意見が出ました。

最後にグループごとの意見を集約して発表し、終了しました。

【津田ブロック】

この日は生憎の雨のため参加者が少なく副会長を含め19名でした。

初めに副会長に挨拶を頂き、自己紹介を行い、校区推進委員会の手引きを順次読み上げた後、意見交換を行いました。



▲津田ブロック

その中で、

- ① 国政選挙の時と、市議・市長選挙の時と投票率にかなり差があるのはなぜか？
- ② 市議・市長選挙の投票率をもっと上げられない

か？上げるにはどうすればよいか、などの意見が出ました。

【枚ニブロック】

枚ニブロックでは次のような意見が出ました。

- ① 昨年の白ばら講座は、好評だったため、会場に入れない方がおられました。今後は多くの方が入れるよう知り合いの席を取らないようにする。整理券を1人ずつ配布するといった意見が出ました。
- ② 投票所が狭くて、車椅子や歩行器の利用者が動きにくいとの意見があり、今後は投票日前日の設営時に通路が確保できているかを確認し、また適切に補助を行うなどの意見がありました。



▲枚ニブロック

	日付	ブロック名 (校区名)	参加人数	開催場所
1	5月25日(日)	禁野(禁野, 磯島, 殿一, 小倉)	24	御殿山生涯学習美術センター
2	6月3日(火)	枚二(枚二, 枚方, 伊加賀)	17	枚方公園青少年センター
3	6月5日(木)	牧野(牧野, 殿二, 西牧野)	18	牧野生涯学習市民センター
4	6月8日(日)	樟葉(樟葉, 樟葉南, 樟葉西, 樟葉北, 船橋)	43	樟葉生涯学習市民センター
5	6月8日(日)	菅原(菅原, 菅原東, 藤阪, 長尾)	22	菅原生涯学習市民センター
6	6月8日(日)	香里(香里, 五常, 開成, 山之上)	23	南部生涯学習市民センター
7	6月14日(土)	津田(津田, 津田南, 氷室)	19	津田生涯学習市民センター
8	6月14日(土)	招提・平野校区	11	平野小学校
9	6月22日(日)	桜丘(桜丘, 桜丘北)	13	桜丘北小学校
10	6月24日(火)	蹉跎(蹉跎, 蹉跎西, 蹉跎東)	24	蹉跎生涯学習市民センター
11	6月28日(土)	明倫(明倫, 中宮, 山田, 山田東)	35	中宮小学校
12	6月29日(日)	春日(春日, 香陽, 川越, 東香里)	18	南部生涯学習市民センター
13	6月29日(日)	西長尾校区	13	西長尾小学校

菊井会長

総務大臣賞受賞

4月9日に菊井会長が第50回衆議院議員総選挙に係る総務大臣表彰を受賞されました。この表彰は令和6年10月27日に執行された衆議院議員総選挙に関して、明るい選挙の推進に尽力し、有権者に対する投票参加の呼びかけなど、多大な貢献をなした功績を称えるとともに他の模範として表彰されるものです。また、選挙の適正な管理執行及び明るい選挙の実現をより一層推進することを目的に表彰されるものであり、枚方市からの推薦で



▲大阪府庁にて授与

大阪府からの個人の部で一人、総務大臣表彰を受賞されました。

若年層啓発

出前授業

【桜丘小学校】

5月13日、桜丘小学校の6年生を対象に出前授業が行われました。最近の投票率や、その中に占める若い人の投票率の低さなどの話がありました。その後、投票立会人の立会いのもとで「もし私が校長になったら」をテーマに模擬投票を体験しました。書き間違ったらどうするなどの質問もあり、少し緊張顔で投票していました。

授業後の感想には、「選挙の仕組みが分かった」「選挙に興味をもった」「18歳になったら選挙に行きたい」など、概ね選挙に対しポジティブな感

想が寄せられました。この思いを忘れず18歳になったらぜひ行動に移して欲しいものです。



▲桜丘小学校
模擬投票

【蹉跎小学校】

5月28日蹉跎小学校にて明るい選挙推進協議会からも4名が参加し、選挙管理委員会事務局職員による出前授業が6年生2クラス63名を対象に行われました。

その後「枚方市長になったら」をテーマに各クラスを8班に分け、班ごとに公約を発表し、良いと思った班の番号を模擬投票用紙に記載し、実際の投票箱を使って模擬投

票を体験しました。その後開票結果を発表しました。

授業を受けた児童に感想を聞くと「本当の選挙みたいで楽しかった」「色々分かったので18歳になったら選挙に行こう」等の意見がたくさんありました。



▲蹉跎小学校
模擬投票

編集後記

今年の『機関紙白ばら49号』は初めての編集委員が多い中で役割分担等、創意工夫のもとで取り組みました。

また、7月は参議院議員通常選挙も有り多忙な中、無事発行できたことは全委員のご協力のお陰と深く感謝いたします。

投票所でのルールとマナー Q&A



正しく公平な
選挙をおこなうために

Q 投票所に朝一番に来た人だけができることは？

A

投票箱の中を見ることができます。不正がないことを確認してもらうために、投票箱の中に何も入っていないことを確認してもらいます。

Q 投票用紙を書き間違えるともう投票できない？

A

もし政党名や候補者の名前を間違えて書いてしまったときは、訂正したい箇所に二重線を引き、余白に正しい政党や候補者名を書いてください。